



○右記「その他」主な意見

- ・明確なプランが必要だと感じます。町として「どういうふうに進めたいのか」をまずは、はっきりと示すべきだと考えます。現状維持、統合どちらにしても様々な意見が出されると思います。住民の意見を聞くことも大切ですが、この南富良野でいま何が必要なのか？子どもたちにどのような教育が必要なのかを明確にし、その結果として今後の方向性を示すことはできないでしょうか？今後、子ども達の人数は減少していく一方だと思います。幾寅小学校でさえ1クラス10数人のクラスもある中、全町の子ども(小学生)が集まっても決して多いとはいえません。そして統合するとなると一番不安を感じるのは子どもです。その影響をうける子どもが安心して学校生活を送れるように、そして、そうなるように今後の方向性を早急に決定し進めて下さい。
- ・統合した地域は先生も減るので、人口が少なくなる。学校も老朽化が進んでいるので、いずれかの時期には、しなくてはいけないのだから。ただ、金山、下金山の子どもが幾寅に統合になったら少し大変だと思います。
- ・南富良野町の町勢として、教育環境、特に小学校のあるべき姿は、やはり町内1校なのではないでしょうか。学校は子どものためにあるべきです。地域の文化センターである学校がなくなれば、その地域が衰退するのは確実です。そう考えると、「統合＝悪い」となるのも理解できます。だからこそ本来の目的「学校は子どものため」に立ち返ることが必要で、感情論やノスタルジーは排除すべきです。
- ・小規模校での良さも大きいと思う。大人数での交流を増やす行事などがあると良いと思う。例えば合同大運動会、学芸会、収穫祭など、月一回程度あると良い。
- ・小学校統合すると町のムダ、ロスが減り、減った分を有効利用できて良いが、その分幼少期～思春期の大事な人間関係が固定化され、大人になる頃よその地域に出た時、本人たちが世間になじめない人ができる可能性があり可哀かなと思いました。人生って出会いがあって必ず別れがある事を小さな頃から免疫がある方が普通の人生だと思う。それができないのはしょうがないかなと思いました。
- ・良い面と悪い面があると思うから。良い面～集団活動が出来る。悪い面～通学距離が長く、小学生には、負担になるのでは。
- ・小規模校の地域と共に歩んできた歴史も大切にしてほしいという希望もあるが、集団での社会性等思春期前に養ってほしい部分もあるので、どちらとも言えない。

南富良野町における小学校のあり方について

平成24年7月、これまでの検討経過を踏まえて、教育委員会としての小学校のあり方に関する方針を定めました。

そこで、教育委員会としては、「ダム上1校・ダム下1校」が、本町の小学校のあり方として、一番良い配置ではないかとの考えをまとめたところであります。この事により、これまでの学年での1人学級が解消されることにより、集団での教育活動の取組が活性化されるとともに、教職員も校長・教頭・教諭・養護教諭・事務職員が配置されることから、地域の学校として役立っていくのではないかと考えています。

「南富良野町における小学校のあり方」教育委員会方針

— 前段省略 —

町内の小学校の児童数については、依然として減少傾向にあります。これまで町内5つの小学校においては、それぞれが創意工夫を凝らして地域の特色を活かしながら、それぞれの学校規模に応じた最善の努力がなされ、様々な諸課題を克服するために教職員が一丸となって教育活動が進められてきたところがあります。

学校では、確かな学力を身につけさせることが重要であることは言うまでもありませんが、同時に学校は、友達と触れ合う中で、やさしさやたくましさ、人を思いやる心、励まし合う心など、様々なことを学び、社会性や生きる力を養う場でもあります。

現在は、幾寅小学校を除く4小学校については、複式学級であり、同級生がいない学年も多い状況であり、今後も児童数の大幅な増加が見込めない状況の中にあっては、「子どもたちが集団生活の中で社会性を培う」とい

◆地域説明会の開催

平成24年7月から12月にかけて、教育委員会の定めた方針について説明するため、各地域の保護者や住民を対象として、説明会を開催しました。懇談会では、これまでの経過説明と教育委員会の方針について説明し、ご意見を伺いました。

○地域説明会開催状況

地区名	開催日	参加者数	
		保護者	地域
北落合	7月20日	6名	—
	11月22日	6名	8名
落合	7月19日	10名	1名
	11月21日	5名	6名
幾寅	7月24日	6名	1名
	12月5日	—	5名
金山	7月18日	4名	—
	10月11日	3名	4名
下金山	7月17日	10名	5名

現状や実情を踏まえて検討した結果、「下金山地区を統合後の学校配置地区とする」との結論に至りました。

学校によせる地域住民の愛着は、十分承知しつつも、次代を担う子どもたちのためにこの統合を推進することに、本町の教育環境がますます整備され、充実した学校教育の実現に繋がることが願うとともに、新しい学校が両地域の小学校として、両地域と協働した教育活動が展開されることを望みます。

地区（幾寅・北落合・落合）及びダム下地区（金山・下金山）で推進協議会を設置して、統合後の小学校について検討を進めてまいります。

統合推進協議会の構成メンバーは、両学校のPTA会長、副会長、会員（2名）、学校長、教頭、教育委員会教育長、教育委員会事務局員を予定。

協議会には、規約を設けるとともに、会長、副会長、事務局長を置き、協議会には、部会を設置し、統合に必要な事項について検討を行います。協議会での検討事項としては、校章や校歌の検討、閉校及び開校の準備等、通学条件の検討、PTA組織の見直し、学校間での協議検討が必要な事項として、教育目標や教育課程の編成、教材・教具・備品等の調整、表示物の変更、閉校になる学校資料の保管等。

各地区での懇談では、金山地区及び下金山地区では、保護者の意向を受けて、ダム下（金山と下金山）で小学校を1校とすることで了承を得ました。今後の統合に向けて、学校配置地区の検討を行うため、統合検討委員会を設置し検討することになりました。

幾寅地区及び北落合地区については、1校とすることで了承を得ました。北落合地区では、幾寅小学校校舎の改築後に合せて統合をしたいとの意向が示されました。

落合地区については、現在の教育環境で子どもを育てたいという意見や、地域が衰退する懸念、人口増に繋がる移住対策を求める意見が出されました。また、11月に行われた説明会では、統合による児童の通学への不安や統合後の地域がどうなるのかといった

不安の声があり、結論には至りませんでした。

今後に向けては、地域や保護者の代表者と行政側で小委員会のような形で話し合いを続けてはどうかとの提案があり、PTA、同窓会、連合町内会の代表者等による懇談を平成25年1月16日に開催しました。

懇談では、地域や保護者間による話し合いの中で、今後の地域振興に対する検討に時間をかけるべきだとの意見から、統合について前向きに検討したいとの意見が出され、今後は、保護者と教育委員会との話し合いの場を設けてほしいとの意見があり、2月に保護者との懇談の場において、統合について了承をいただきました。

統合後、新しい小学校をどちらの地区に配置するかを検討する統合検討委員会は、金山小学校及び下金山小学校のPTA・同窓会から各2名、地域代表として各3名、両小学校の校長、合せて16名を検討委員として委嘱し、教育長より学校配置地区について諮問を行い、計3回の会議を開催して検討され、下金山地区を学校配置地区とする答申がなされました。

— 答申内容 —

金山小学校・下金山小学校については、共に開校後10年を超える歴史と伝統があり、金山・下金山両地域も学校を中心として成り立ってきた経過があります。

統合により学校がなくなる地域に与える影響は大きなものとなりますが、両校の教育環境における現状と両地域の

◆今後の動向について

町内の小学校をダム上1校・ダム下1校という方針について、各地域の保護者並びに地域住民から了承をいただいたことを受けて、ダム上地区については、幾寅小学校・北落合小学校・落合小学校の3校を統合し、校舎については、現幾寅小学校を改築のうえ、平成26年4月に開校の予定とする。

ダム下地区については、金山小学校と下金山小学校を統合のうえ新校舎を下金山地区に整備し、平成28年4月に開校予定とする。

今後統合に向けて、ダム上

地区（幾寅・北落合・落合）及びダム下地区（金山・下金山）で推進協議会を設置して、統合後の小学校について検討を進めてまいります。

統合推進協議会の構成メンバーは、両学校のPTA会長、副会長、会員（2名）、学校長、教頭、教育委員会教育長、教育委員会事務局員を予定。

協議会には、規約を設けるとともに、会長、副会長、事務局長を置き、協議会には、部会を設置し、統合に必要な事項について検討を行います。協議会での検討事項としては、校章や校歌の検討、閉校及び開校の準備等、通学条件の検討、PTA組織の見直し、学校間での協議検討が必要な事項として、教育目標や教育課程の編成、教材・教具・備品等の調整、表示物の変更、閉校になる学校資料の保管等。

今後の統合に向けた検討にあたり、これまでに皆様からいただいた様々なご意見を真摯に受け止め、本町の子どもたちにとってよりよい教育環境の整備充実に向けてまいりますので、保護者をはじめ地域住民の皆様のご理解とご協力につきまして、よろしくお願いたします。

平成25年度 町政執行方針
 平成25年度教育 行政執行方針
 平成25年度予算
 小学校のあり方 について
 千里大学 自主研究
 各学校卒業式
 カメラレポート
 教育委員会通信
 子育て 支援センター

統合後の学校配置地区検討

金山小学校と下金山小学校

環境における現状と両地域の

今後統合に向けて、ダム上

地区（幾寅・北落合・落合）及びダム下地区（金山・下金山）で推進協議会を設置して、統合後の小学校について検討を進めてまいります。